

「情報メディア論」研究室の紹介

担当教員： 吉本秀子
研究室電話： 083-928-3452 (C館2階)
Email: hyoshi@fis.ypu.jp

- **研究領域**： 政治コミュニケーション論。国際比較メディア論。地域報道から国際報道まで。
- **専門演習の目的**： わたしたちの周囲にはマス・メディアからの情報があふれています。メディアからの情報はわたしたちの意識や生活にどのような影響を与えているのでしょうか。本研究室では、国際社会におけるメディアの役割や影響についての文献を読み、それをもとに実際に新聞やテレビなどの内容を分析したり、メディアの効果を考察したりすることによって、メディアが政治と社会に与える影響や、その役割について考えていきます。
- **最近、教員が興味を持っていること**： 同じ事件が国によって異なったニュアンスで報道されるのはなぜだろう、と疑問に思ったことが、マス・コミュニケーション論を研究し始めたきっかけでした。もともとは第二次世界大戦の報道についてプロパガンダ論をもとに日米メディアの比較などをしていました。最近、対象年代を戦後に移して、日米関係における沖縄問題を政治コミュニケーション論の視点から捉えることに挑戦中です。また山口という地方からの情報発信のあり方にも興味を持っています。
- **指導できる領域**： メディア・コミュニケーションに関することなら何でも。卒論などは、できるだけ学生の興味のあるテーマでやるのが良いと思っています。過去のゼミ生たちの卒論テーマは以下のように様々でしたが、「メディア論を土台にこんな研究ができます」という例として参考にしてください。
- **ゼミ生の過去の卒論テーマ例**： 「イラク戦争報道の日米比較」「朝日新聞にみるコソボ紛争」「服部君事件の日米報道比較」「ワールドカップ報道の日韓比較」「多メディア時代の新聞～新聞は生き残れるか」「中国新聞にみる上関原発報道」「メディア参加によるエンパワーメントと国際理解」「環境広告」「ベネトンの広告戦略」「電子メールマガジン編集におけるメーリングリストの

役割」「光母子殺人事件と少年報道」「コミュニティ・メディアとしての携帯電話」「携帯電話とコミュニケーション」「アートふる山口におけるマスコミとクチコミ」「山口県立美術館の広報活動」「メディア規制法案と市民」「ゴミ分別に対するメディアの影響」など。

- **相談時間**： 現在、ジョージワシントン大学シグールアジア研究センターの客員研究員として米国滞在研修中です。メールでお問い合わせください。
<http://www.gwu.edu/~sigur/about/scholars.cfm>